
S っ気彼氏。

又羅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

しつ 氣彼氏。

【ZPDF】

Z72860

【作者名】

叉羅

【あらすじ】

自分の名前が嫌いで明るく振舞うことができなくなつた少女、

三年になり親友と同じクラス、自己紹介の時がやつてきた。

またも失敗してしまつと思われた少女に救いの手が！？

せじめつ（前書き）

この話は実話を元につくられたフィクションです

好きになつた彼はドSでした

V V V V V

あたし、魁華はさきがけはな
なつた
中三のクラス替えでずっと離れていた親友とはじめて同じクラスに

「セセーー！華と回じクリスだ、やつたあー！」

「うわー本当にすばらしい！」

三年は修学旅行や受験という大きなイベントがあるから親友と同じクラスになれたことがとても嬉しかった

^ ^ ^ ^ ^

「はい、みんな座れー。知つてると思つたが三年最後だし自己紹介は
じめつぞー」

「いやでーす

「絞めつモヒラーネ」

「あははは」

先生の言葉に「ブーイング」をしながらも自己紹介がはじまった

「あ～・・・です・・・」

「～～・・・です」

一人また一人と自己紹介をしていく

あたしにはみんなの自己紹介を聞いてる余裕はなかった

それは自己紹介がとても嫌いだからだった

あたしは学校ではおとなしいグループに入つていて
目立たなく、あたしがいなくなつても誰も気づかないぐらいの存在だ

でも、最初からこんな性格だったわけではない

小学校の頃はそれとなくクラスのやんちゃなグループに入つて

男子とは追いかけっこもしていた

クラスの友達としゃべるのはとても楽しく、親が離婚してこんな魁さきがけ

なんて変な名前になつてもみんな何も言わないでいたくれた

恋だつてしていたけど

保育園のとき好きだつた結城くんは小学校に上がる頃にはこなくなつていてたし

小丑の時に牛丼した祐也くんも、牛を畠つてみてから『氣まぎくへー一回もしゃべりすこ自然消滅したよつだつた

その頃から ああ付き合つてことは絶交つてことなのかなと思っこみ

そのまま小学校を卒業した

中学一年になつてまたも親友の鮎沢雪と同じクラスになねず血口紹介の時間がはじまつた

ああなんて言おうかな気の利いたこととか言えないしなあ

あ、あたしの番だ

「はじめましてー、魁華つていいますー、これか・・・」

そのとた、私はまつもつ聞いとつてしまつた

「変な名前」

ほんとに小さい声で誰も聞こえてなかつたみたいだつたが
自分のことだからすぐ大きく聞こえた

やつぱりわかつても言われるとすくべつらい
小学校のみんなが氣を使つてくれていただけだ。

とつあえず早く皿口紹介を終わらうと思つたが声が震えていたら
どうしようとか、考えすぎて声が出せなくなつた

「へ・び・う・した、魁」

「なんなの後がつまつてるよ」

「早く終わらせよ・せ・や・な・あ・。」

みんなが騒ぎだしたといひでやつとのおもいで声を絞り出した

「あ・・・・」、れか・り・・・み・り・・・・・・へ、おねが・・・い・し・ま・す・
・・・

「へ・び・う・した」

「ばか、聞こえてるつて」

騒然とする教室の中あたしはもつなこも聞こえなかつた

^ ^ ^ ^ ^ ^ ^ ^

۱۶۱

お
一
・
・

「うわあ、え何」

「次華の番だよ」

「えつ」

昔のことを思い出してるうちに自分の番が来ていたなんて。
また何も考えられなかつた

あれからクラスのみんなとはうちとけれず、今の状態になってしまつたから

今度は声を出そうと頑張ったが

「えー・じ・う・じ・め・り・あ・れ・」

「もうと大きな声でなー。」

先生の声で消されてしまう

「…………魁華です…………これからよろしくおねがいします…………」

自分でMAXの声を出して自己紹介をした

「変な名前」

「暗いし」

でもやっぱり、ダメだった

あたしだめだな・・

そうかんがえてると

「え、なんでカツコイイじゃん。さきがけ！俺、婿候補するMAX

はじめて言われたことに驚いたまま声のやわらかさみると、

そこに五十嵐執のすがたがあった

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7286o/>

Sつ気彼氏。

2010年11月5日20時28分発行